

大袋地区
まちづくり会議提言書

令和元年(2019年)11月18日
大袋地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、大袋地区では、委員25人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

大袋地区まちづくり会議

会長 川 島 秀 男

1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

(1) 大袋地区の将来像

梅かおる自然と共生する 学びとやすらぎのまち 大袋

(2) 現況と課題

【現況】

大袋地区には鴨場や梅林公園、野鳥が生息する元荒川や新方川など、魅力的で特色のある景観があり、農地や屋敷林をはじめ多くの緑地も残されています。これらの地域資源を守るため、地域のつなかりを活用して草花を植えるなど、豊かな緑の創出に取り組んでいます。

また、生活環境においては、大袋駅周辺のまちづくりや西大袋土地区画整理事業が進められており、さらなる地域の発展が期待できます。さらに、コミュニティ活動については、梅まつりや地域活動を中心に盛んに行われ、埼玉県立大学との連携も進められています。

【課題】

自然・水辺環境に恵まれているものの、緑や水と共生していくためには、農地の保全や元荒川、新方川の氾濫を防ぐための対策、災害に備えた地域の仕組みづくりが求められています。

また、空き家の増加や、大袋駅周辺における東武鉄道伊勢崎線により分断された東西の連結、大袋駅東口周辺の整備なども課題とされています。

コミュニティ活動が活発である一方、高齢化による担い手の減少や関心の希薄化が進んでおり、地域の住民が交流する機会や場所の充実が求められています。さらに、小・中学校も多くあることから、埼玉県立大学の学生との連携や多世代交流の促進により、子どもたちを地域で育てていけるような環境が求められています。

キーワード	魅力	課題
自然環境	◇ 鴨場や梅林公園の自然環境 ◇ 元荒川や新方川の水辺環境 ◇ 2つの越谷いちご観光農園	◆ 河川の氾濫や水害に対する不安 ◆ 農家の高齢化や後継者不足
生活利便性	◇ 大袋駅西口の活用 ◇ 西大袋土地区画整理事業による地域の発展	◆ 鉄道による地域分断と大袋駅東口周辺の整備 ◆ 空き家の増加による犯罪への不安
コミュニティ	◇ 梅まつりや地域の行事が活発 ◇ 埼玉県立大学と地域の連携	◆ 高齢化による自治会活動の担い手の減少

(3) まちづくりの目標

目標 1	四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり
目標 2	活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり
目標 3	大袋の未来を拓くコミュニティづくり

2 取組の体系

目標 1 四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり

重点的な取組 1-1 みどりの保全・農地の有効活用のための取り組み

【方向性】

- ① 四季を感じるみどりのネットワークの形成
- ② みどりの一端を担う農地との関わり

重点的な取組 1-2 水と共存するための取り組み

【方向性】

- ① 安全な水辺環境づくり
- ② 新方川・元荒川等の氾濫や水害への予防対策

目標 2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり

重点的な取組 2-1 みんなでつくる安全・安心の仕組みづくり

【方向性】

- ① みんなで確保する子どもの安全
- ② みんなで灯す明るいまちづくり
- ③ 災害時の安全対策

重点的な取組 2-2 地域の賑わいにつながる、人や車の円滑な流れを実現

【方向性】

- ① 大袋駅周辺のまちづくり
- ② 道路・交通ネットワークの充実

目標3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

重点的な取組3-1 多様なイベント等による交流を通じたコミュニティの醸成

【方向性】

- ① 楽しく賑やかな地域活動の場の展開
- ② 住民間で共存し続ける環境づくり

重点的な取組3-2 多世代交流・子どもの教育による大袋の担い手育成

【方向性】

- ① 多世代交流による担い手育成
- ② 充実した教育環境の整備

3 取組内容

目標 1 四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり

重点的な取組 1-1 みどりの保全・農地の有効活用のための取り組み

住民自ら花やみどりを増やす活動や清掃活動に取組み、大袋地区のみどりと水辺のネットワーク形成を図るとともに、行政と連携した街路樹や梅林公園の適正な管理が必要です。また、農家と協力し、地域活動と連携しながら、農地の有効活用や農業の支援等に取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 四季を感じるみどりのネットワークの形成	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> ● 花いっぱい運動の活性化（コンクールの実施等） ● 花や緑の表彰制度の実行委員会の設置検討 ● 各自治会区域内公園の草花の管理・整備 ● 西大袋土地区画整理事業区域内調整池の清掃管理の協力 «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> ○ 西大袋土地区画整理事業区域内の街路樹の整備 ○ 梅林公園の適正な管理、周辺の自然環境の保全
② みどりの一端を担う農地との関わり	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> ● 親子の米づくり事業の継続 ● 子どもたちの野菜栽培体験 ● 地域の農業の発展につながる農家との連携

重点的な取組 1-2 水と共存するための取り組み

水害時に備えた具体的な防災活動の取り組みと、自然にやさしい護岸整備の促進を図ります。また、新方川・元荒川等の氾濫や水害に備え、自治会による具体的な避難行動・情報の作成を図るとともに、行政と連携した適切な水害対策が必要です。

方向性	具体的な内容
① 安全な水辺環境づくり	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> ● 自然護岸を日常のふれあいの場として活用 «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> ○ 河川敷地の適正管理
② 新方川・元荒川等の氾濫や水害への予防対策	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> ● 自治会による具体的な避難行動・情報の作成 ● 水害発生予測、避難レベルの情報共有 «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> ○ 水害に対する地域への正確な情報提供 ○ 避難場所の周知 ○ 元荒川・新方川の氾濫対策 ○ 水害を防ぐ護岸整備促進と浸水対策 ○ 局地的豪雨に対応した住環境の向上

目標 2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり

重点的な取組 2-1 みんなでつくる安全・安心の仕組みづくり

見守り活動による通学路の安全確保、明るく、安心な街づくりを進めます。
災害時に備え、地域の諸団体との連携・協力による防災対策を進めます。

方向性	具体的な内容
① みんなで確保する 子どもの安全	«地域でできること» ● 市からのエリアメールの活用促進 ● 見守り隊の活動・制度の充実・人材の確保 «市への期待» ○ 大袋小学校周辺の交通安全対策
② みんなで灯す明るい まちづくり	«地域でできること» ● 登下校時の集団化を充実 ● 埼玉県立大学との連携による子どもの安全確保 «市への期待» ○ 道路照明灯の増設 ○ 空き家対策による犯罪抑制 ○ 防犯カメラの設置促進
③ 災害時の安全対策	«地域でできること» ● 地域の危険個所の地図づくり ● 災害時の子どもの安全確保 ● 地域と民間ショッピングセンター・大学等との 連携による災害時の対応 «市への期待» ○ 小学校や中学校等への防災倉庫の設置 ○ 防災備蓄品の適正管理

重点的な取組 2-2 地域の賑わいにつながる、人や車の円滑な流れを実現

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会による大袋駅東口周辺の整備検討と西大袋土地区画整理事業早期完成促進を働きかけます。

方向性	具体的な内容
① 大袋駅周辺のまちづくり	«地域でできること» ● 大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討 ● 既存道路の改修に関する検討 «市への期待» ○ 東武鉄道伊勢崎線の高架化による東西の連結
② 道路・交通ネットワーク の充実	«地域でできること» ● 西大袋土地区画整理事業早期完成の要請 «市への期待» ○ 西大袋土地区画整理事業早期完成 ○ 幹線道路の整備促進（袋山恩間線） ○ バス網の充実

目標 3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

重点的な取組 3-1 多様なイベント等による交流を通じたコミュニティの醸成

梅まつりの活性化と PR の促進や、市民活動とコミュニティ推進協議会の連携によって、よりいっそうコミュニティの醸成を図ります。また、地域において安全・安心の暮らしを支援するとともに、高齢者等が集まる場の確保が必要です。

方向性	具体的な内容
① 楽しく賑やかな地域活動の場の展開	«地域でできること» ● 梅まつりの充実 ● 多様な縁を活かした活動の推進 ● 市民活動支援センターとコミュニティ推進協議会との連携 ● 公共施設の利用促進と PR «市への期待» ○ 梅まつりの PR 促進 ○ 地区センター・コミュニティ施設の早期整備
② 住民間で共存し続ける環境づくり	«地域でできること» ● 声掛け運動による孤立の回避と災害時の支援 ● 住民の個性を生かしたリーダーの発掘 ● 異文化との交流 «市への期待» ○ 高齢者等が集まる場の確保

重点的な取組 3-2 多世代交流・子どもの教育による大袋の担い手育成

多様な団体の活動促進により、多世代が交流する機会づくりを図ります。また、埼玉県立大学との連携促進や子どもの居場所づくりを進めます。

方向性	具体的な内容
① 多世代交流による担い手育成	«地域でできること» ● 多様な団体の連携及び活動促進 ● 多世代交流による地域での子育て
② 充実した教育環境の整備	«地域でできること» ● 埼玉県立大学との連携促進 ● 小学校高学年の居場所づくり «市への期待» ○ 小学校の生徒数の均衡を考慮した通学区域の検討

令和元年9月7日
大袋地区まちづくり会議
会長 川島 秀男 様

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会
会長 細沼 淳平

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについて（意見）

1 はじめに

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、平成18年から大袋東まちづくり協議会において、様々な検討を進めてまいりましたが、具体的な結論までには至りませんでした。また、まちづくりを進めるにあたり、重要となる駅周辺の権利者や駅利用者が協議会に関っていないことが課題となっておりました。

そのため、このたび関係自治会等に権利者や利用者も含めた組織として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」を発足し、主に駅前広場やアクセス道路等の整備について、この地区にふさわしいまちづくりを検討することとなりました。

2 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討について

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、前回の大袋地区まちづくり会議提言書でも意見があり、越谷市都市計画マスタープランの地区別構想には、主な施策として、桜井地区で「国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討」、大袋地区で「大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討」が挙げられております。

また、まちづくりの課題については、大袋東まちづくり協議会をはじめ、地権者を対象としたアンケート調査や懇談会、さらには、協議会発足に伴う準備会や本協議会においても、様々な方々と意見交換を行ってまいりました。

3 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりに係る意見について

上記の検討を踏まえ、下記の事項について、提案いたします。

- ・駅前広場の整備等の検討に関する事
- ・アクセス道路の整備等の検討に関する事
- ・既存道路の改修に関する事
- ・防災まちづくりの強化に関する事
- ・商店街の充実・活性化に関する事

つきましては、越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「駅前広場とアクセス道路の整備の検討」を引き続き、継承するとともに、本協議会からの意見を大袋地区まちづくり会議の提言書へ反映していただきますよう、ご検討をお願いいたします。